

有水中学校校長室より

令和5年7月21日(金)

文責 木宮 崇子

明日から37日間の夏休みです

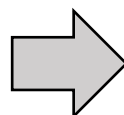
夏休みが来るといつも考えることがあります。まずは「安全」です。夏休みは心のブレーキが効きにくくなるとともに、開放感、普段と違う時間に行動する等の状況が考えられることから、普段以上に身の安全に気を配って行動してほしいと願うばかりです。また、近年の自然災害は、これまでの知識や経験では考えられないような被害が生じています。気象の情報に関心を持ち、いざというときに自分の命を守る力を身に付けてほしいと考えます。そして、どんな困難な状況でもくじけない、諦めない、へこたれない力をもって欲しいと思います。

次に「自分の生活のスケジュール管理をする」ことです。夏休みが終わると、課題を終えることができず、困っている生徒を毎年毎年見かけます。休みがスタートするときはたくさんある休みの日々がだんだんと減り、とうとう明日は課題提出の日となっていくのでしょうか。学校は、時間割があり、チャイムがあり、仲間や先生方からの刺激を受け、何となく時間管理ができていた感じがしますが、本当の実力は家庭での生活でわかります。自分の生活を律する力を身に付けていくのは、夏休みの重要課題ですね。好きなこと、やりたいことを我慢する、やりたくないけれどやらなければならないことに取り組む。時間を管理する。この力こそ、将来的に自分の可能性を広げる力だと考えます。

3年生は、今年の夏休みは、勝負所です。目標を持ち、自分の進路実現のために時間を有効に使って下さい。

これは何の方法でしょう？

- ひらがなばかりで文章を書く。
- 深く考えないで、さっさと内容のないことを書く。
- 本を読まない。
- 怒られるから宿題をする。
- 間違った問題はそのままにしておく。
- よく手を抜く。
- 掃除中、おしゃべりばかりで手をこまめに動かさない。
- 「はい」と返事せず、「うん」とかジェスチャーで済ませてしまう。
- いつもうつぶせになっていたり、下を向いている。
- プリントやテストなど身の回りの物を散らかしている。
- 提出物の期限を守らない。
- 筆箱の中がいつも何か足りずに人に借りる。
- よく教科書やノートを忘れる。
- 薄い文字を書く。
- 運動中にだらだらしている。
- ピンチの時はあきらめる。
- 最後まで言葉をはっきり言わない。



これは
自分を伸ばさない方法
です。得意不得意がそれぞれありますが、いずれ社会の一員として巣立っていく子どもたち。一つでも減らせるようにしてもらえたらと思います。

しかし、私たちおとなもこんな場面がないでしょうか。自分に当てはめて考えてみたいと思いました。

三者面談

夏休みに入るとすぐに三者面談があります。1学期の学校生活や、学習の様子についてお知らせいたします。また、なにか相談事などあれば、お話し下さい。生徒、保護者、担任がじっくり話す機会は意外と少ないものです。お忙しい中とは存じますが、よろしくお願いいたします。